

平成30年度

# 教員免許状更新講習のご案内

## 目次

1	受講対象者および 平成30年度教員免許状更新講習受講資格者 …	P1
2	講習期間 ……………	P1
3	実施する講習 ……………	P2
4	募集定員 ……………	P2
5	講習会場 ……………	P2
6	申込期間 ……………	P2
7	申込方法 ……………	P3
8	受講料納入 ……………	P3
9	受講のキャンセルについて ……………	P3
10	事前課題意識調査について ……………	P3
11	講習当日の受付 ……………	P4
12	その他 ……………	P4
	開講要領 ……………	P5



**教員免許状更新講習** と **免許法認定講習** は別の講習です。受講に際しては、ご注意ください。

問い合わせ先

武蔵野音楽大学 教員免許状更新講習係

〒176-8521 東京都練馬区羽沢1-13-1 電話 03-3992-1128

武蔵野音楽大学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/>



## 1

## 受講対象者および平成30年度教員免許状更新講習受講資格者

## (1) 受講対象者（新免許状・旧免許状共通）

- ①現職教員（校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く）
- ②実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
- ③教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育または社会教育に関する指導等を行う者
- ④③に準ずる者として免許管理者が定める者
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
- ⑥上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める者
- ⑦教員採用内定者
- ⑧教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用（または非常勤）教員リストに登載されている者
- ⑨過去に教員として勤務した経験のある者
- ⑩認定こども園で勤務する保育士
- ⑪認可保育所で勤務する保育士
- ⑫幼稚園を設置している者が設置する認可外保育施設で勤務する保育士

※現在まで教職に就いておらず、また今後も教員として勤務する予定のない方は受講の必要はありません。  
 ※旧免許状所持者のうち、①③④⑥については受講義務者（更新講習の受講義務がある者）になります。

## (2) 平成30年度教員免許状更新講習受講資格者

上記①～⑫のうち、以下の【A】または【B】に該当する方に受講資格があります。

【A】旧免許状所持者（平成21年3月31日以前に授与された普通免許状または特別免許状を有する方）

修了確認期限・生年月日		免許状更新講習受講期間 および更新講習修了確認申請期間
修了確認期限の満了日 平成31年3月31日	昭和38年4月2日生～昭和39年4月1日生	平成29年2月1日～ 平成31年1月31日
	昭和48年4月2日生～昭和49年4月1日生	
	昭和58年4月2日生～昭和59年4月1日生	
修了確認期限の満了日 平成32年3月31日	昭和39年4月2日生～昭和40年4月1日生	平成30年2月1日～ 平成32年1月31日
	昭和49年4月2日生～昭和50年4月1日生	
	昭和59年4月2日生～	

【B】新免許状所持者（平成21年4月1日以降に初めて授与された普通免許状または特別免許状を有する方）

所持する免許状の有効期間の満了日が平成31年3月31日または平成32年3月31日  
 （免許状の有効期間満了日まで2年2ヶ月の期間内にある方）

ご自身の受講資格について不明な場合は、都道府県教育委員会等にご自身でご確認ください。  
 また、文部科学省ホームページでご自身の「修了確認期限」が確認できます。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/003/index1.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm)

## 2

## 講習期間

- 必修領域 6 時間：平成30年7月21日(土)〔小学校教員対象クラス〕  
 平成30年7月22日(日)〔中学校・高等学校教員対象クラス〕
- 選択必修領域 6 時間：平成30年7月21日(土)〔中学校・高等学校教員対象クラス〕  
 平成30年7月22日(日)〔小学校教員対象クラス〕
- 選択領域 18 時間：平成30年7月23日(月)～7月25日(水)の3日間

## 3 実施する講習

- (1) 必修領域6時間、選択必修領域6時間および選択領域18時間、合計30時間の講習を開講します。
- (2) 必修領域6時間、選択必修領域6時間は、それぞれ「小学校の教員を対象とするクラス」と「中学校・高等学校の教員を対象とするクラス」に区分し、開講します。
- (3) 選択必修領域6時間は、開講している3講座から1講座を選択し、受講してください。
- (4) 選択領域18時間は各日6時間の講座を7～8ページのとおり開講します。各日に開講している講座から1講座を選択し、3日間で18時間（1講座6時間×3）の受講ができます。
- (5) 必修領域のみ、選択必修領域のみあるいは選択領域のみの受講もできます。また、選択領域は、1講座6時間あるいは2講座12時間のみの受講もできます。
- (6) 選択領域について、同一名称の講座は受講できません。（例 BとK、EとL、MとP等）
- (7) 一度お申し込みいただいた講座は、原則として変更できません。

### ◆平成28年4月からの教員免許更新制の改正について

平成28年度より教育職員免許法施行規則等の一部改正により、新たに「選択必修領域」が追加されました。改正後の教員免許状更新講習の課程は、「必修領域」の講習を6時間以上、「選択必修領域」の講習を6時間以上および「選択領域」の講習を18時間以上の計30時間以上となり、これらの課程を修了する必要があります。

### ◆平成28年3月まで（改正前）に受講した教員免許状更新講習の取扱い

- \* 改正前に必修領域の講習（12時間）を受講し履修認定を受けた場合、改正後の制度では、必修領域の講習（6時間）および選択必修領域の講習（6時間）について履修認定を受けた者としてみなされます。
- \* 改正前に選択領域の講習（6～18時間）を受講し履修認定を受けた場合、改正後の制度では、同時間数の選択領域の講習について履修認定を受けた者としてみなされます。

## 4 募集定員

必修領域・選択必修領域・選択領域いずれも5～8ページの「開講要領」を確認してください。

## 5 講習会場

武蔵野音楽大学 江古田キャンパスで開講します。

〒176-8521 東京都練馬区羽沢1-13-1

### 最寄駅

- ①西武池袋線 江古田駅（北口より徒歩約4分）
- ②西武有楽町線 新桜台駅（④番出口より徒歩約4分）
- ③東京メトロ有楽町線・副都心線 小竹向原駅（②番出口より徒歩約9分）

## 6 申込期間

平成30年5月21日(月)消印 ～ 5月31日(木)必着 **申し込みは郵送のみとなります。**

※申し込み受付は先着順とし、申込書に第1希望から第3希望を記入した上で申し込んでください。

なお、申込期間内であっても各講座の募集人数を超えた場合には、受付を締め切ります。

※受付状況は本学ウェブサイトに掲載しますので確認の上、お申し込みください。（毎日16：30頃更新。ただし、土曜・日曜を除く）

※希望する講座の受講の可、不可の通知（受講決定通知書）については6月11日(月)以降、発送します。

## 7 申込方法

本学指定の申込書によりお申し込みください。なお、申込書はこの要項に添付されている用紙を使用するか、下記の本学ウェブサイトからダウンロードしてご使用ください。

**申込先** 〒176-8521 東京都練馬区羽沢1-13-1 武蔵野音楽大学 教員免許状更新講習係

**提出物** (1) 教員免許状更新講習受講申込書

(2) 事前課題意識調査用紙（任意）

●事前課題意識調査については、本ページの10をご確認ください。

(3) 同一の写真2枚 縦4cm×横3cm（最近3ヶ月以内に撮影したもの、カラー・白黒いずれでも可。正面上半身、無背景、無帽）

●裏面に氏名を記入して、1枚は教員免許状更新講習受講申込書に貼付してください。もう1枚はそのまま提出してください。（裏面に氏名を記入）

武蔵野音楽大学ウェブサイト <http://www.musashino-music.ac.jp/>

## 8 受講料納入

〈受講料〉

必修領域	6時間	7,000円
選択必修領域	6時間	7,000円
選択領域	1講座（6時間）	7,000円
	2講座（12時間）	14,000円
	3講座（18時間）	21,000円

※受付後、6月11日（月）以降にお送りする「受講決定通知書」をご確認の上、同封の「受講料の納入について」に記載の納入期限までに受講料を指定口座へお振込みください。

## 9 受講のキャンセルについて

申し込み手続きが完了した後に、受講する講座の全部または一部をキャンセルする場合は、必ず「教員免許状更新講習係」まで電話で連絡をしてください。7月13日（金）17時までにキャンセルの申し出があった場合は、キャンセルする講習の受講料を全額返還します。7月13日（金）17時以降のキャンセルの申し出については、受講料は返還できませんのでご了承ください。

## 10 事前課題意識調査について

講習の実施に先立ち、事前課題意識調査を行いますので、「平成30年度 教員免許状更新講習 事前課題意識調査」をご記入の上、申込書と一緒にお願いします。なお、この調査書の提出は任意です。また、この調査で希望された事項は担当講師に伝えるとともに、今後においてできるかぎり活かせるよう配慮してまいりたいと存じますが、諸事情により直ぐには実現できないこともありますことを予めご了承ください。

## 11 講習当日の受付

必修領域	[小学校教員対象クラス] 7月21日(土) [中学校・高等学校教員対象クラス] 7月22日(日)	受付時間：8時20分～9時00分 受付場所：S棟1階メインロビー
選択必修領域	[中学校・高等学校教員対象クラス] 7月21日(土) [小学校教員対象クラス] 7月22日(日)	
選択領域	7月23日(月)・24日(火)・25日(水)	

- (1) 本学より郵送します受講決定通知書を、当日必ずご持参ください。引き換えに、受講票および資料を受付でお渡しします。
- (2) 事情により当日の受付に間に合わない場合は、「教員免許状更新講習係」までご連絡ください。
- (3) ご自身が受講する当日に受付を済ませてください。なお、複数日に渡り受講する場合は、受講する初日に受付を済ませれば、2日目以降の受付は必要ありません。

## 12 その他

- (1) 身体に障がいがあるため、受講に際して特別な配慮を必要とする場合は、申し込みに先立ち「教員免許状更新講習係」まで相談してください。
- (2) 講座の授業、事前準備等の詳細は7月上旬に、文書でお知らせします。
- (3) お車でのご来校はご遠慮ください。
- (4) 宿泊については各自でご手配をお願いいたします。

## 開 講 要 領

### (1) 必修領域および選択必修領域講座内容、募集定員および時間割

#### 必修領域講座内容

講 習 内 容		担 当 講 師
教 育 事 情	国の教育政策や世界の教育の動向について	津 田 正 之 (国立音楽大学教授、京都市立芸術大学非常勤講師、聖徳大学非常勤講師)
	教員としての子ども観、教育観等についての省察	新 藤 久 典 (実践女子大学非常勤講師、東京女子体育大学教職アドバイザー、東京都東大和市教育委員会教育委員)
	子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見	大 場 ゆかり (武蔵野音楽大学専任講師)
	子どもの生活の変化を踏まえた課題について	

#### 選択必修領域講座内容

講 習 内 容		担 当 講 師
学校における危機管理上の問題	いじめや不登校、虐待など児童生徒にかかわる課題や働き方改革などの組織運営にかかわる課題、新しい学習指導要領を確実に実施していくうえでの教師の力量形成にかかわる課題など、学校が社会的責任を果たしていくうえでリスクとなるものを取り上げ、講義やディスカッション、演習などを通して、受講者の実践的課題解決力を高める。	坂 田 篤 (清瀬市教育委員会教育長)
学校、家庭及び地域の連携及び協働	現在、学校には「チーム学校」を踏まえた組織的な教育実践、危機管理が求められています。「社会に開かれた教育課程」等を踏まえ、これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合っていくために求められる資質・能力とは何か、教育課程において明確化していくことは何かを考えていきます。その際、「チーム学校」という、学校の教職員のチームワークはもとより、地域の人的・資的資源を活用等、社会教育や異校種、様々な機関と、どのように連携していくかを考えます。	高 橋 基 之 (実践女子学園中学校高等学校校長、洗足学園音楽大学非常勤講師)
道 徳 教 育	道徳科の全面実施を受け、今後子どもたちに培うべき資質・能力とは何か。学習指導要領に基づく「主体的で対話的で深い学び」を目指した授業改善・カリキュラムマネジメント・評価とはどのようなものか。ワークショップを通して具体的に考え、学んでいきます。	齋 藤 道 子 (文京区立明化小学校副校長)

## 募集定員

必修領域・選択必修領域いずれも「小学校の教員を対象とするクラス」と「中学校・高等学校の教員を対象とするクラス」とし、必修領域は「小学校の教員を対象とするクラス」を60名、「中学校・高等学校の教員を対象とするクラス」を100名、選択必修領域は21日、22日の各クラスいずれも35名ずつとします。

対象	領域	定員
小学校の教員を対象とするクラス	必修領域	60名
	選択必修領域	3講座ともに各35名
中学校・高等学校の教員を対象とするクラス	必修領域	100名
	選択必修領域	3講座ともに各35名

## 時間割

### □ 小学校の教員を対象とするクラス

講座記号 **X**

7月21日 (土)	必修			昼食 11:20 ～ 12:20	Ⅲ時限	Ⅳ時限	Ⅴ時限	Ⅵ時限	Ⅶ時限					
		I時限	Ⅱ時限											
		9:00-9:20	9:30-10:20	10:30-11:20	12:20-13:10	13:20-14:10	14:20-15:10	15:20-16:10	16:30-17:30					
		ガイダンス	津田正之	津田正之	新藤久典	新藤久典	大場ゆかり	大場ゆかり	必修筆記試験					
7月22日 (日)	選択必修			昼食 11:20 ～ 12:20	Ⅲ時限	Ⅳ時限	Ⅴ時限	Ⅵ時限	Ⅶ時限					
		I時限	Ⅱ時限											
		9:30-10:20	10:30-11:20							12:20-13:10	13:20-14:10	14:20-15:10	15:20-16:10	16:30-17:30
		1組	坂田 篤											選択必修 筆記試験
2組	高橋基之					選択必修 筆記試験								
3組	齋藤道子					選択必修 筆記試験								

### □ 中学校・高等学校の教員を対象とするクラス

講座記号 **Y**

7月21日 (土)	選択必修			昼食 11:20 ～ 12:20	Ⅲ時限	Ⅳ時限	Ⅴ時限	Ⅵ時限	Ⅶ時限
		I時限	Ⅱ時限						
		9:00-9:20	9:30-10:20	10:30-11:20	12:20-13:10	13:20-14:10	14:20-15:10	15:20-16:10	16:30-17:30
		ガイダンス	1組	坂田 篤					選択必修 筆記試験
			2組	高橋基之					選択必修 筆記試験
			3組	齋藤道子					選択必修 筆記試験
7月22日 (日)	必修			昼食 11:20 ～ 12:20	Ⅲ時限	Ⅳ時限	Ⅴ時限	Ⅵ時限	Ⅶ時限
		I時限	Ⅱ時限						
		9:30-10:20	10:30-11:20						
		a組	津田正之	津田正之	新藤久典	新藤久典	大場ゆかり	大場ゆかり	必修筆記試験
		b組	大場ゆかり	大場ゆかり	津田正之	津田正之	新藤久典	新藤久典	必修筆記試験

\*7月22日(日) 必修領域「中学校・高等学校の教員を対象とするクラス」のa・b組については、締切り後に発送します「受講決定通知書」にてお知らせします。



## (2) 選択領域講座内容、募集定員および時間割

### 講座内容

#### ■ 7月23日(月)

講座記号 <b>A</b>	<b>音楽科指導法 (中・高校)</b> —鑑賞教材を中心に— 定員40名
	中学校を中心に、新学習指導要領を見据えた鑑賞の授業づくりについて研修する。教材は、授業で扱われることの多い鑑賞曲を取り上げる。指導内容、学習展開、指導方法、評価、ワークシート等を具体的に考えて交流し合うなど、実践的な研修を通して、鑑賞の授業改善につなげる。
	<b>勝山 幸子</b> (港区立御成門中学校主任教諭)
講座記号 <b>B</b>	<b>伴奏法 (ピアノ)</b> —歌曲、合唱曲を中心に— 定員15名
	課外活動の指導も視野に入れ、歌曲や合唱曲の伴奏に際して必要な知識・技術、楽曲の解釈と表現の工夫等について、実践的に研修する。
	<b>三ッ石 潤 司</b> (武蔵野音楽大学教授)
講座記号 <b>C</b>	<b>編曲法</b> —器楽、合唱教材を中心に— 定員15名
	課外活動の指導も視野に入れ、吹奏楽・リコーダー合奏・合唱曲の編曲に際して、必要な知識・技術等について、実践的に研修する。
	<b>佐藤 誠 一★</b> (武蔵野音楽大学専任講師)
講座記号 <b>D</b>	<b>音楽科指導法 (中・高校)</b> —指導案の作成について(歌唱共通教材を中心に)— 定員40名
	中学校の歌唱共通教材を中心に、発声や歌詞や曲想とのかかわりに注意しながら表現を工夫させる指導について、授業場面を想定しながら実践的に研修し、指導案を作成する。
	<b>菊本 和 仁</b> (学校法人三浦学園日本音楽高等学校校長、全日本音楽教育研究会中学校部会(第13代会長))
講座記号 <b>E</b>	<b>吹奏楽研究</b> —指揮法の基本— 定員40名
	課外活動の指導も視野に入れ、吹奏楽指導に必要な指揮法の基本、楽器の特性についての知識、楽曲の解釈と表現法、発達に応じた楽曲の選択等について、実践的に研究する。
	<b>大 滝 実</b> (武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>F</b>	<b>器楽指導法</b> —リコーダー指導を中心に— 定員40名
	小・中・高等学校のリコーダー活動を中心に、楽器の特徴を生かしたアンサンブルの工夫等その指導のあり方について、実践的に研修する。
	<b>吉 澤 実</b> (リコーダー奏者)
講座記号 <b>G</b>	<b>日本伝統音楽の研究</b> —箏、三味線の指導法— 定員30名
	和楽器の指導について、特に箏、三味線を中心に、楽器の特性や奏法の理解、教材の取り扱い等指導上の配慮や指導法の工夫について、実践的に研究する。
	<b>杉 浦 聡</b> (武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>H</b>	<b>音楽科指導法</b> —器楽、音楽づくり・創作を中心に— 定員30名
	小・中・高等学校における器楽および音楽づくり・創作の指導に関する講座。器楽については、曲想にふさわしい表現を工夫し、楽器の特徴を生かした表現の指導等に関して、実践的に研修する。音楽づくり・創作については、音楽を形づくっている要素、特に音楽の仕組みや構成を工夫してつくる指導等について、実践的に研修する。
	<b>永 岡 和香子</b> (浜松学院大学短期大学部准教授)

★専門的知識を必要とします

#### ■ 7月24日(火)

講座記号 <b>I</b>	<b>音楽科指導法 (小学校)</b> —歌唱教材を中心に— 定員30名
	小学校の歌唱活動を中心に、曲想を感じ取って歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫し、自分の思いや意図をもって歌うことの指導について、場面を想定しながら実践的に研修する。
	<b>松本 絵美子</b> (文京区立窪町小学校校長)
講座記号 <b>J</b>	<b>歌唱表現</b> —その指導の深化を求めて— 定員30名
	中学校・高等学校の歌唱教材を中心に、歌唱表現に必要な発声の技法、楽曲の解釈と表現の工夫について、実践的に研修する。
	<b>谷 友 博</b> (武蔵野音楽大学専任講師)
講座記号 <b>K</b>	<b>伴奏法 (ピアノ)</b> —歌曲、合唱曲を中心に— 定員15名
	課外活動の指導も視野に入れ、歌曲や合唱曲の伴奏に際して必要な知識・技術、楽曲の解釈と表現の工夫等について、実践的に研修する。
	<b>子 安 ゆかり</b> (武蔵野音楽大学専任講師)

講座記号 <b>L</b>	<b>吹奏楽研究</b> —指揮法の基本— 課外活動の指導も視野に入れ、吹奏楽指導に必要な指揮法の基本、楽器の特性についての知識、楽曲の解釈と表現法、発達に応じた楽曲の選択等について、実践的に研究する。	定員40名 <b>佐藤 正人</b> (武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>M</b>	<b>合唱研究</b> —その指導の深化を求めて— 課外活動の指導も視野に入れ、合唱表現に必要な発声の指導、楽曲の解釈と表現の工夫、指揮者の意図を伝える指揮の技術や伴奏の工夫等について、実践的に研究する。	定員60名 <b>片山 みゆき</b> (武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>N</b>	<b>編曲法</b> —器楽、合唱教材を中心に— 課外活動の指導も視野に入れ、吹奏楽・リコーダー合奏・合唱曲の編曲に際して、必要な知識・技術等について、実践的に研修する。	定員15名 <b>佐藤 誠一★</b> (武蔵野音楽大学専任講師)
講座記号 <b>O</b>	<b>これからの音感教育</b> (“聴きとり術”で伸ばす、 小・中・高等学校を通じて必要な音感教育の基礎として、“聴きとり術”で耳を開き、コードの響きやコードの動きが聞こえる耳作りをする方法と、楽典の知識とピアノテクニックを直結させるスケール、コード、アルペジオ、モード(教会旋法)の教え方を具体的に研修する。クラシック、ジャズ、ポップスにも繋がる大きくくりで、音感教育を提案する具体的な内容。	定員60名 <b>樹原 涼子★</b> (作曲家、ピアニスト)

★専門的知識を必要とします

## ■ 7月25日(水)

講座記号 <b>P</b>	<b>合唱研究</b> —その指導の深化を求めて— 課外活動の指導も視野に入れ、合唱表現に必要な発声の指導、楽曲の解釈と表現の工夫、指揮者の意図を伝える指揮の技術や伴奏の工夫等について、実践的に研究する。	定員60名 <b>片山 みゆき</b> (武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>Q</b>	<b>特別支援教育における音楽指導</b> 小・中・高等学校および特別支援学校において、特別の支援を必要とする子どもに対する音楽活動ではどのような配慮が必要か。また、音楽活動を通してどのようにかかわったらよいか、必要な知識・技術等について、実践的に研修する。	定員40名 <b>土野 研治</b> (日本大学芸術学部教授、武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>R</b>	<b>伴奏法(ピアノ)</b> —歌曲、合唱曲を中心に— 課外活動の指導も視野に入れ、歌曲や合唱曲の伴奏に際して必要な知識・技術、楽曲の解釈と表現の工夫等について、実践的に研修する。	定員20名 <b>小池 ちとせ</b> (武蔵野音楽大学教授)
講座記号 <b>S</b>	<b>音楽科指導法(小学校)</b> —鑑賞教材を中心に— 小学校を中心に、新学習指導要領を見据えた鑑賞の授業づくりについて研修する。教材は、授業で扱われることの多い鑑賞曲を取り上げる。指導内容、学習展開、指導方法、評価、ワークシート等を具体的に考えて交流し合うなど、実践的な研修を通して、鑑賞の授業改善につなげる。	定員25名 <b>勝山 幸子</b> (港区立御成門中学校主任教諭)
講座記号 <b>T</b>	<b>器楽指導法</b> —パーカッションアンサンブル— さまざまな形態の合奏、表現によるアンサンブルを通して、イメージや音素材の特徴を生かし、楽器や身体により即興的に表現する指導のあり方について、実践的に研修する。	定員30名 <b>田内 千代</b> (武蔵野音楽大学非常勤講師)
講座記号 <b>U</b>	<b>音楽科指導法(中・高校)</b> —日本の伝統音楽の鑑賞を中心に— 中学校・高等学校の日本の伝統音楽の鑑賞活動を中心に、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわり、音楽の特徴と文化・歴史とのかかわりなどの視点から、それらを言葉で説明する指導のあり方について、場面を想定しながら実践的に研修する。	定員25名 <b>薦田 治子</b> (武蔵野音楽大学教授)

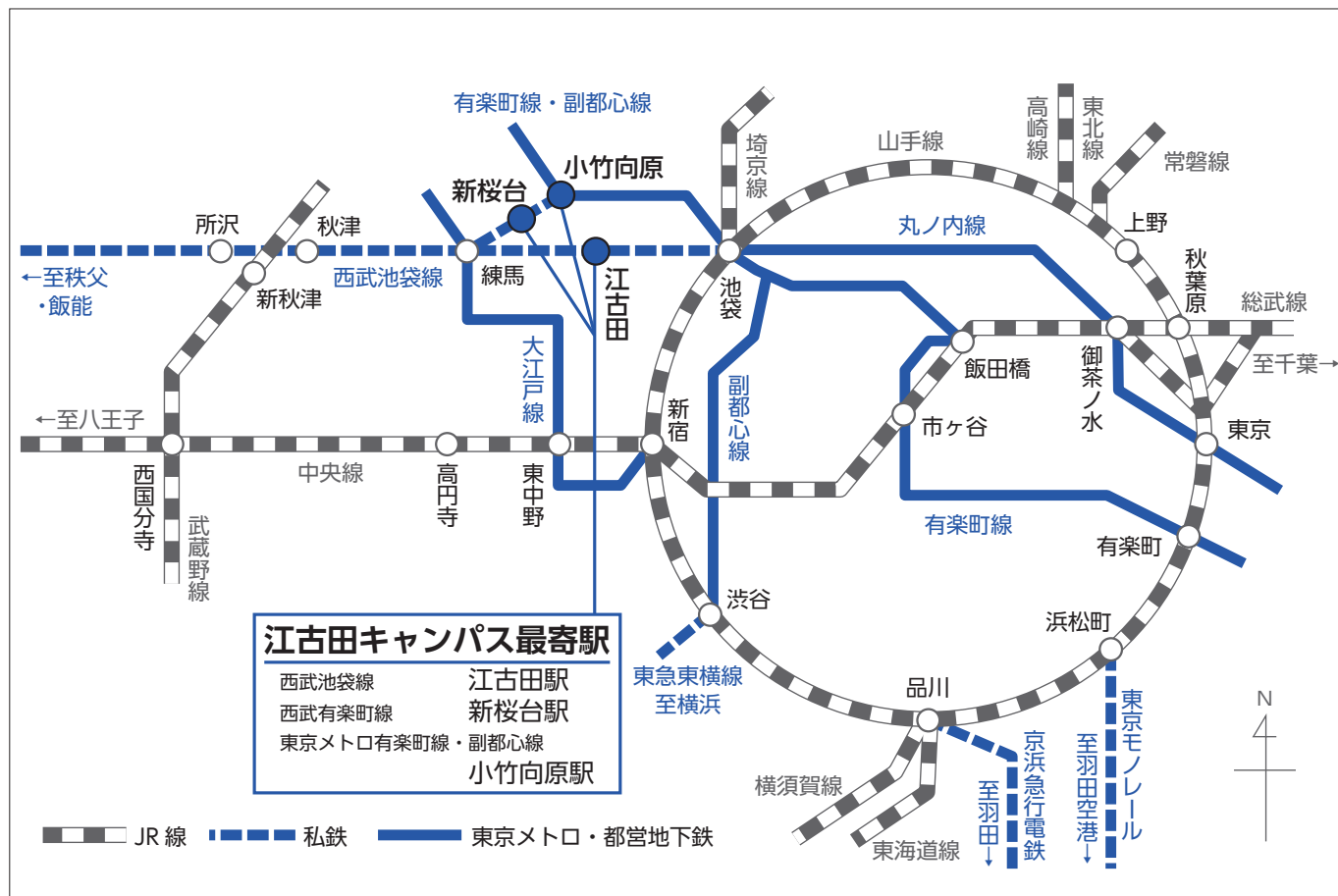
## 時間割

### ■ 7月23日(月)から7月25日(水)まで3日間共通

7月23日(月) ?	選択	I 時限	II 時限	昼食 (12:50-13:50)	III 時限	IV 時限
7月25日(水)		9:30-11:00	11:20-12:50		13:50-15:20	15:40-17:10



■ 最寄駅までの交通路線図



■ 江古田キャンパスまでの徒歩ルート



- 西武池袋線 江古田駅北口よりキャンパスまで徒歩4分
- 西武有楽町線 新桜台駅4番出口よりキャンパスまで徒歩4分
- 東京メトロ有楽町線・副都心線 小竹向原駅2番出口よりキャンパスまで徒歩9分

# 武蔵野音楽大学

MUSASHINO ACADEMIA MUSICAE

江古田キャンパス 〒176-8521 東京都練馬区羽沢1-13-1